

橋梁設計における積算システムでの補正係数の内部処理について

神奈川県県土整備局の積算システムでは、以下のとおり内部処理を行っております。

対象範囲：設計業務等標準積算基準書 第3編 土木設計業務 第2章 土木設計業務等標準歩掛 第8節 橋梁設計

8-1 橋梁予備設計

8-2-1 コンクリート上部工

8-2-2 鋼橋上部工

処理内容：橋長補正係数（%）は小数2位を四捨五入して小数1位とし、その他の補正係数を加味した補正係数は、小数6位切捨てして小数5位としています。

計算例：コンクリート上部工の場合（（RC）単純T桁橋）

- a) 標準歩掛 : 2.0
- b) 標準設計・JIS桁使用の有無 : 無
- c) 橋長 : 19 m
- d) 予備設計の有無 : 無
- e) 斜橋(橋軸方向バチ形を含む)区分 : 斜角 90°~70°
- f) バチ形(幅員方向)の有無 : 無
- g) 曲線形の有無 : 有
- h) 構造区分 : 類似構造物

①橋長補正（%）

$$\text{橋長補正} = 1.743 \times 19 + 78.21 = 111.327 \approx 111.3 \text{ (小数2位四捨五入小数1位止め)}$$

※端数処理は設計業務等標準積算基準書の歩掛表（注）1. を参照。

②補正係数 ①

$$\text{補正係数} = (111.3/100 + 0.05 + 0.8) \times 0.65 = 1.27595 \text{ (小数6位切捨て5位止め)}$$

③補正後歩掛 ②

$$\text{補正後歩掛} = 2.0 \times 1.27595 = 2.5519 \approx 2.552 \text{ (小数4位四捨五入3位止め)}$$

※端数処理は積算参考資料（計画・調査編）第1編 第1章 第2節 2-2

（1）数量を参照。

※※数値は架空のものです。